

## 第5回 東備西播定住自立圏形成推進協議会 会議録

- 1 日 時 平成22年4月2日（金） 15:00 ～ 15:50
- 2 場 所 赤穂市役所 2階 204会議室
- 3 出席者
  - (1) 委 員 豆田正明（赤穂市長）  
明石元秀（赤穂市副市長）  
池田芳伸（赤穂市議会議長）  
松原 宏（赤穂市議会定住自立圏構想調査特別委員会委員長）  
西岡憲康（備前市長）  
森山純一（備前市副市長）  
掛谷 繁（備前市議会副議長）  
山本 暁（上郡町長）  
高橋道夫（上郡町副町長）  
田淵重幸（上郡町議会議長）  
阿部 昭（上郡町議会副議長）
  - (2) 幹 事 赤穂市：橋企画振興部長  
備前市：馬場総務部長  
上郡町：岡本企画財政課長
  - (3) 事務局及び各市町担当者  
赤穂市：三谷企画課長、平野企画係長、姉帯事務員  
備前市：藤原企画課長、田原企画課長代理  
上郡町：前田企画財政課参事、宮下企画財政課副課長、木村企画政策係長

### 4 会議の概要

- (1) 開 会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 報告事項  
東備西播定住自立圏共生ビジョンについて
- (4) 協議事項  
第9号議案 平成22年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について
- (5) その他
- (6) 閉 会

### 5 議事の概要

- 事務局 定刻になりましたので、ただ今から、第5回東備西播定住自立圏形成推進協議会を開催いたします。司会進行の赤穂市企画振興部長の橋です。  
よろしく願いいたします。  
さて、議事に入ります前に、本日の協議会に傍聴の申し出がございます。  
会議の傍聴につきましては、「会議規程」第2条で原則公開となっておりますが、出席委員の過半数の決定により非公開とすることもできます。  
本日の議事内容は、お手元のとおりでありますので、会議の冒頭から傍聴を認め

たいと思います。

また、写真等の撮影希望があれば「豆田会長あいさつ」までとし、会議中の撮影、録音はできないこととしたい、と考えておりますが、ご異議ございませんか。

「異議なし」

異議なしというお言葉をいただきましたので、傍聴を認めるということで、傍聴の方にお入りいただきます。

しばらくお待ちください。

(傍聴者、報道入室)

お待たせいたしました。

報道の方をお願いいたします。会議中の写真撮影等にご遠慮いただきますので、ご希望があれば、ただ今から会長あいさつまでの間、写真等の撮影を認めたいと思います。

必要な方は、この時間をお願いいたします。

それでは、開会にあたりまして、会長であります赤穂市の豆田市長よりごあいさつを申し上げます。

豆田会長

本日は、年度始めの大変お忙しい時期にもかかわらず、第5回東備西播定住自立圏形成推進協議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。

検討を進めてまいりました共生ビジョンにつきましては、当協議会でのご意見を踏まえて、ビジョン懇談会や3市町におきます検討、協議を経て、さる3月23日に策定され、公表がなされたところでございます。

しかしながら、定住自立圏の形成はこのビジョン策定がスタートラインであり、この4月からは、策定をいたしました共生ビジョンに基づき、具体的に事業を推進していくこととなります。

委員の皆様にはそれぞれのお立場でご尽力、ご協力を賜り、改めてお礼を申し上げる次第でございます。この圏域全体の魅力を向上させ、住みやすい地域を作ることが、2市1町及びこの協議会に課せられた使命であると思っておりますので、今後とも皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて本日は、この共生ビジョンに掲げられました事業を具体的に実施するための協議会予算につきまして、ご審議を賜りたいと存じます。

委員の皆様方の忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。開会の挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくをお願いいたします。

事務局

ありがとうございました。

報道関係の方、以上で撮影の時間を終了いたします。

議事に入ります前に、委員のうち備前市議会山崎議長より欠席の連絡を受けております。

また、幹事及び各市町担当者が変更になっておりますので、ご報告いたします。

4月1日付の人事異動に伴い、上郡町、松石企画総務課長の後任といたしまして、岡本企画財政課長が幹事に就任することになりました。

また、各市町担当者のうち、赤穂市、中村主査が姉帯事務員に、備前市、里見企画課長が藤原企画課長に、上郡町、中山企画総務課参事が前田企画財政課参事に、また、宮下副課長が新たに加わります。

以上のように変わりましたので、自己紹介をさせていただきます。

(順に自己紹介)

なお、お手元に名簿を配布しておりますので、ご覧いただければと思います。

また、各部会役員の名簿につきましても合わせてお配りしております。

それでは会長、議事進行をお願いいたします。

- 豆田会長            それでは、3の報告事項に入ります。  
東備西播定住自立圏共生ビジョンについて、であります。  
事務局、説明をしてください。
- 事務局              東備西播定住自立圏共生ビジョンの策定について、ご報告させていただきます。  
共生ビジョンにつきましては、去る2月15日に開催しました第4回協議会で素案をお配りしましたが、その時のご意見やビジョン懇談会等でのご意見を踏まえて最終的に修正を行いました。その内容についてご説明させていただきます。修正案は大きく4つありまして、一つには目標や目的を明確にしたこと、二つとして住民に分かりにくい表現を修正したこと、三つとして各市町の役割分担を明記したこと、四つとして写真や図などを挿入し、住民にわかりやすくしたこと、です。  
(詳細については、新旧対照表により説明)  
ビジョン懇談会での検討や総務省との協議を経まして3月23日に備前市で策定され、翌3月24日に公表し、要綱に従い総務省及び岡山県、兵庫県に送付いたしました。全国では9番目の策定と聞いております。また、ビジョン策定にあたり、いただきましたご意見は、今後部会等で検討を行い、協議が整ったものから順次追加、拡大を行っていきたいと考えています。
- 豆田会長            事務局の説明は終わりました。  
報告事項について何か質問等ありますか。
- 田淵委員            総務省との協議は、今の資料で協議をされたのですか。
- 事務局              本日記布の最終確定分の共生ビジョンで協議をさせていただきました。
- 掛谷委員            人口はどんな基準で記載しているのですか。
- 事務局              人口は参考として記載させていただきましたが、国の国勢調査に基づき記載をしています。
- 掛谷委員            国勢調査が今年行われ、人口が変更になると思いますが、そのあたりは今後どうしていくことになるのですか。
- 事務局              共生ビジョンは毎年見直しを行うことになっていますので、変更がある箇所などは、最新の情報に修正していきたいと考えています。
- 豆田会長            他にないようですので、4の協議事項に入ります。  
平成22年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算について、であります。  
それでは、事務局より説明をお願いします。
- 事務局              (平成22年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算 説明)
- 豆田会長            事務局の説明は終わりました。  
それでは、予算につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。
- 高橋委員            予算の歳入、負担金の内訳を詳しく説明していただけますか。
- 事務局              共生ビジョンにもありますように、特別交付税の中心市割増分となる約3000万円までは備前市さんのみの負担となります。

高橋委員　　この3000万円は、先行実施団体に選ばれた時の臨時交付金から充当されたものですか。

事務局　　本年度につきましては備前市さんの財源は、臨時交付金を積み立てている基金からとなります。

高橋委員　　本年度予算の2800万円が賄えるだけの基金がまだ残っているということですか。

事務局　　現在、約3300万円の残があります。

高橋委員　　今後の負担金のあり方として、特交の合計6000万円について、どのように使っていこうと計画されているのですか。

事務局　　共生ビジョンの4ページをご覧くださいと思います。なかほど、各市町負担金は、特別交付税措置額のうち中心市としての加算交付額までは備前市が負担し、それを上回る部分については3市町で協議のうえ決定する、としています。今のところ、中心市としての特交加算額が約3000万円とされていますので、その額までは備前市さんが負担することになっています。

豆田会長　　22年度の特別交付税はどうなるのですか。

事務局　　基金での支出には特別交付税の措置はありません。あくまで一般財源の支出に対して措置されるということになります。

高橋委員　　各市町単独事業の1000万円を、定住自立圏事業として特交申請ができないのですか。

事務局　　特交の申請は、共生ビジョンに記載された圏域事業が対象になります。

高橋委員　　これから26年度までの事業を、特交申請できる事業かどうか分けしてもらえないですか。

事務局　　共生ビジョンをご覧くださいと思いますが、例えば赤穂市の文化会館整備事業は赤穂市単独で実施することになり、その他の事業は、原則協議会で執行するという役割分担としてはっきりさせています。特交は、この協議会事業に対して各市町から支出される負担金や赤穂市単独の文化会館整備事業が対象になります。

豆田会長　　要は、共生ビジョンに記載された事業が特交の対象になるということですので、単独事業であっても、このビジョンに載せていくことが必要があるということです。

池田委員　　上郡町の給食施設も、今後対象になるのではないですか。

豆田会長　　今は金額が記載されていませんが、当然、対象になってくるものと思います。

池田委員　　具体的な事業を実施して、この制度をうまく活用していけばいいのではないかと思います。

- 高橋委員 赤穂市民病院を医療の中心として活用していくべきだと思いますが、この特交も利用し、また必要であれば各市町が応分の負担をしてでも、特に小児科と産科の充実をお願いしたいと思います。そういう点からも特交の6千万円の有効活用を図っていただきたいと思います。
- 事務局 医療の問題につきましては、これまでも検討を重ねてきましたが様々な課題がありました。その検討を踏まえ、赤穂市民病院を圏域の中心病院とし、少し時間が掛かるかも知れませんが、まずは医師や看護師など医療関係者の顔合わせから行うということで今回ビジョンに記載いたしました。現時点では、お互いの顔が見える関係づくりから行い、具体的な方向性を見出していければと考えています。
- 西岡副会長 どの圏域も医療の問題はとても大切な課題となっています。まずは医師の頭数を揃えることがとても大切だと考えていますが、現在のところ赤穂市民病院でさえ医師が不足し、派遣できる医師がいないということでもあります。  
備前市では備前市民病院を建替えようとしていますが、何よりも医師が必要になってきます。このため、給料等の差額を圏域事業として協議会が補助金を出し、医者呼んでくることも方法の一つだと考えています。
- 田淵委員 中心の備前市と中心的都市の赤穂市の関係は、具体的にどうなっているのですか。上郡町議会でもよく聞かれるし、町民への説明もしなければならないので、そのあたりを明確にしていだけないでしょうか。
- 西岡副会長 そういう意見があっても当然かとも思います。我々も、この圏域の中心市は当初から赤穂市という認識でいました。ところが、国の方から基準が出され、昼夜間人口比率が1以上ということが優先されるようになったため、備前市が中心市ということになってしまいました。備前市民も赤穂市が中心市という認識でいますし、戸惑っているというのが現実です。
- 田淵委員 そのあたりをはっきりさせた方が良いのではないかと考えて発言させていただきました。
- 池田委員 基準があるので、しょうがない。はっきりしょうがないと思います。
- 西岡副会長 先程も言いましたとおり、基準があるので戸惑っているというのが実態です。
- 池田委員 赤穂市民病院の市内外料金の差額をなくし、圏域住民は同一料金にできないかと思いますが、そのための差額を補助して料金を統一することはできないのでしょうか。
- 事務局 我々もそういう考えをもって国に確認をしたことがありましたが、結論としてそれはできないという回答でした。理由は、減収補填のための補助金交付を特交の対象とすることは好ましくないということでありました。
- 掛谷委員 赤穂市民病院の産科について、市外制限はやめられないのですか。そうしてもらえると備前市民、上郡町民も助かるのではないかと思います。
- 豆田会長 病院からは「もう少し時間をいただきたい」と言われていますが、解除までそんなに時間は掛からないと思っています。  
  
他に意見はありませんか。  
特に意見がないようですので、平成22年度東備西播定住自立圏形成推進協議会

予算につきましては、原案のとおり可決することで、ご異議ございませんか。

(異議なし)

それでは、平成22年度東備西播定住自立圏形成推進協議会予算につきましては、可決いたします。

続きまして、5のその他ですが、事務局から何かありますか。

事務局

まず、協議会の今後の予定について、であります。

協議会は、本日ご決定をいただきました予算と共生ビジョンに基づき、各部会において事業を推進してまいります。

今後、これまで本協議会でいただきましたご意見等を踏まえ、新たな取り組み内容の追加や見直しを行うことにしております。

新たな部会の設置を含め、3市町の事務レベルでの協議の進捗状況によりまして、次回協議会を開催させていただきたいと思っております。したがって次回の会議日程は現時点では未定であります。開催にあたりましては、別途日程調整をさせていただきたいと思っております。

次に、今年度はビジョンに基づく様々な協議会事業が実施されます。委員の皆様におかれましても、時間が許せば、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

以上です。

田淵委員

先程の続きになりますが、共生ビジョンの2ページ「備前市と赤穂市が連携し、」とあるところは、上郡町とは連携しないのですか。

事務局

ビジョンの前後の文章からもご確認をいただければと思いますが、上郡町と連携を行うことも記載をしています。ただ、お尋ねの部分は、あくまでも都市機能のことについて表現をしていますので、ご理解をお願いします。

西岡副会長

赤穂市では「春の義士祭」があると聞きましたが、そういう情報をどんどんお知らせすればどうでしょうか。

豆田会長

「春の義士祭」は市ではなく、大石神社が主催して行います。ただ、情報提供という点では、今後各市町のイベントなどを積極的に発信して欲しいと思っております。

他にありませんか。

ないようですので、協議会の次回開催は、新たな取り組みの検討状況により開催させていただきたいと思っております。また、各種事業への参加についても、皆さん、よろしくをお願いします。

それではこれもちまして本日の会議は終了いたします。ご苦労さまでした。

了

(15時50分)